

## 法令試験問題

事業者名 又は 氏名		採点	
------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

### 【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

- (1) 事業者は、事業用自動車の到着が著しく遅延した場合は、すみやかに原因を調査し、必要と認めるときは、その概要を関係のある営業所に掲示しなければならない。  
( )
- (2) 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款を適用する場合において、事業者は、災害その他の事故により乗車券を滅失した場合以外には乗車券の再発行をしてはならない。  
( )
- (3) 一般貸切旅客自動車運送事業を経営するためには、道路運送法に規定されている一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けなければならない。  
( )
- (4) 下記に掲げる項目のなかで、一般旅客自動車運送事業の許可をしてはならない者として、法令で定められているものはどれか。してはならない者には×印を、そうでない者には○印を記入しなさい。
  - ①未成年であり、法定代理人が存在しない者 ( )
  - ②他の運送事業を経営している者 ( )
  - ③一年以上の懲役又は禁固の刑に処せられ、その刑の執行が終わってから五年を経過していない者 ( )
  - ④一般貨物自動車運送事業の許可を取り消されてから五年を経過していない者 ( )
- (5) 事業者は、夜間において長距離の運行を行う事業用自動車に乗務する運転者に対して、当該乗務の途中において少なくとも1回電話その他の方法により点呼を行わなければならない。  
( )

(6) 旅客自動車運送事業者が公表すべき輸送の安全にかかわる事項について、下記の中で正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を ( ) 内に記入しなさい。

①輸送の安全に関する基本的な方針 ( )

②輸送の安全に関する目標又はその達成状況 ( )

③自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計 ( )

(7) 一般貸切旅客自動車運送事業を休止する時は、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

( )

(8) 旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、事業用自動車の運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。

( )

(9) 「輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン」は、安全や利用者サービスの向上に意欲的に取り組んでいる貸切バス事業者が利用者に選択されることを促進することを目的としている。

( )

(10) 事業者は、事業用自動車に少なくとも営業区域内の道路、地名、著名な建造物、公園、名所及び旧跡並びに鉄道の駅が明示された地図であって地方運輸局長の指定する規格に適合するものを備えておかななければならない。

( )

(11) 事業者は運転者に対し旅客及び公衆に対する応接に関し必要な指導監督を怠ってはならないが、その事項を総括処理させるため、指導主任者を選任する必要はない。

( )

(12) 事業者は事業計画に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。ただし、天災その他やむを得ない場合はこの限りではない。

( )

(13) 事業者は、営業所ごとの配置車両が10両を超えた場合のみ、安全統括管理者を選任しなければならない。

( )

(14) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後100日以内に毎事業年度に係る事業報告書を管轄地方運輸局長に提出しなければならない。

( )

- (15) 乗車定員 11 人以上の自動車の使用者は、保有車両 3 両以上でなければ自動車の使用の本拠ごとに、自動車の点検整備並びに自動車車庫の管理に関する事項を処理させるため整備管理者を選任しなくてもよい。

( )

**【選択問題】**

次の文章の ( ) の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

- (1) 旅客自動車運送事業者は、旅客自動車運送事業運輸規則第二十六条の二に規定する事故の記録、同運輸規則第三十八条第一項の規定による ( ) の記録その他の国土交通大臣が告示で定める書類を適切に管理し、( ) 第一項の規定による ( ) の求め又は同条第四項の規定による ( ) を受けた場合に、速やかに提示できるようにしなければならない。

ア. 指導監督    イ. 報告                      ウ. 車両法第六十三条    エ. 教育  
オ. 乗務            カ. 報告規則第二条    キ. 通達                      ク. 立入検査  
ケ. 告示            コ. 適性診断            サ. 指導                      シ. 命令  
ス. 運輸規則    セ. 法第九十四条        ソ. 巡回

- (2) 一般貸切旅客自動車運送事業者が使用する自動車が ( ) 人以上の死者を生じる事故を引き起こした場合は、24 時間以内においてできる限り速やかにその事故の概要を運輸支局長等に速報しなければならない。

ア. 1            イ. 2            ウ. 5

- (3) 道路運送法の目的は道路運送の ( ) の利益を保護及びその利便の増進を図るとともに、道路運送の総合的な発達を図り、もつて公共の福祉を増進することである。

ア. 利用者    イ. 事業者    ウ. 申請者

- (4) 旅客自動車運送事業者は、( ) の責務を定めることその他国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。

ア. 経営の責任    イ. 事業の責任者    ウ. 運行の責任者

- (5) 旅客自動車運送事業者は、天災その他理由により輸送の安全の確保に支障が生ずるおそれがあるときは、事業用自動車の ( ) に対する必要な指示その他輸送の安全のための措置を講じなければならない。

ア. 乗務員    イ. 旅客    ウ. 車両

(6) 自動車運送事業の用に供する自動車は（ ）ごとに定期点検整備をしなければならない。

ア. 三ヶ月 イ. 六ヶ月 ウ. 一年

(7) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を（ ）しなければならない。

ア. 常に清潔に保持 イ. 可能な限り清潔に ウ. 運行のたびに清潔に

(8) 一般旅客自動車運送事業者は、その名義を他人に（ ）。

ア. 利用させてもよい イ. 貸し渡してもよい ウ. 利用させてはならない

(9) 「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン」において、安全重点施策として「事業者は、安全方針に基づき、事業者が達成したい成果として、会社全体、各部門又は支社等において、輸送の安全の確保に関する（ ）を設定し、目標を達成するため、輸送の安全を確保するために必要な取組計画を作成する。」こととしている。

ア. 計画 イ. 取組 ウ. 目標

(10) 事業者は、事業用自動車の運転者が乗務した場合は、当該自動車の瞬間速度、（ ）及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を一年間保存しなければならない。

ア. 運行回数 イ. 瞬間出力 ウ. 運行系統 エ. 運行距離

(11) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る乗務員台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを（ ）保存しなければならない。

ア. 一年間 イ. 三年間 ウ. 五年間

(12) 一般旅客自動車運送事業者は、運賃及び料金並びに（ ）を営業所その他の事業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない。

ア. 就業規則 イ. 運送約款 ウ. 運行管理規程

**【筆記問題】**

(1) 事業者が提出する事業報告書は、次に記載するとおりである。  
( ) にあてはまる語句を記入しなさい。

- ・事業概況報告書
- ・( )
- ・貸借対照表
- ・一般旅客自動車運送事業損益明細表
- ・一般旅客自動車運送事業人件費明細表

答. \_\_\_\_\_

(2) 一般旅客自動車運送事業の運送約款に定める事項として、法令で規定されている事項を1つ正確に記入しなさい。

答. \_\_\_\_\_

(3) 事業者が地方運輸局長の命令により整備管理者を解任された者を選任する場合、解任の日から何年を経過した者でなければならないか、記入しなさい。

答. \_\_\_\_\_

(4) 次の文章の ( ) の中にあてはまる語句を回答しなさい。

旅客自動車運送事業に従事する自動車運転手の一日の拘束時間は13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は( ) とする。

答. \_\_\_\_\_

(5) 次の文章の ( ) の中にあてはまる語句を回答しなさい。

旅客自動車運送事業者は、乗務員が事業用自動車の運行の安全の確保のために遵守すべき事項及び乗務員の ( ) についての規律を定めなければならない。

答. \_\_\_\_\_

## 法令試験問題 模範解答

事業者名 又は 氏名		採点	
------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

### 【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

1点×20=20点

- (1) 事業者は、事業用自動車の到着が著しく遅延した場合は、すみやかに原因を調査し、必要と認めるときは、その概要を関係のある営業所に掲示しなければならない。  
( ○ )
- (2) 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款を適用する場合において、事業者は、災害その他の事故により乗車券を滅失した場合以外には乗車券の再発行をしてはならない。  
( × )
- (3) 一般貸切旅客自動車運送事業を経営するためには、道路運送法に規定されている一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けなければならない。  
( ○ )
- (4) 下記に掲げる項目のなかで、一般旅客自動車運送事業の許可をしてはならない者として、法令で定められているものはどれか。してはならない者には×印を、そうでない者には○印を記入しなさい。
  - ①未成年であり、法定代理人が存在しない者 ( × )
  - ②他の運送事業を営んでいる者 ( ○ )
  - ③一年以上の懲役又は禁固の刑に処せられ、その刑の執行が終わってから五年を経過していない者 ( × )
  - ④一般貨物自動車運送事業の許可を取り消されてから五年を経過していない者 ( ○ )
- (5) 事業者は、夜間において長距離の運行を行う事業用自動車に乗務する運転者に対して、当該乗務の途中において少なくとも1回電話その他の方法により点呼を行わなければならない。  
( ○ )

(6) 旅客自動車運送事業者が公表すべき輸送の安全にかかわる事項について、下記の中で正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を ( ) 内に記入しなさい。

- ①輸送の安全に関する基本的な方針 ( ○ )
- ②輸送の安全に関する目標又はその達成状況 ( × )
- ③自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計 ( ○ )

(7) 一般貸切旅客自動車運送事業を休止する時は、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

( × )

(8) 旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、事業用自動車の運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。

( ○ )

(9) 「輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン」は、安全や利用者サービスの向上に意欲的に取り組んでいる貸切バス事業者が利用者に選択されることを促進することを目的としている。

( ○ )

(10) 事業者は、事業用自動車に少なくとも営業区域内の道路、地名、著名な建造物、公園、名所及び旧跡並びに鉄道の駅が明示された地図であって地方運輸局長の指定する規格に適合するものを備えておかなければならない。

( × )

(11) 事業者は運転者に対し旅客及び公衆に対する応接に関し必要な指導監督を怠ってはならないが、その事項を総括処理させるため、指導主任者を選任する必要はない。

( ○ )

(12) 事業者は事業計画に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。ただし、天災その他やむを得ない場合はこの限りではない。

( ○ )

(13) 事業者は、営業所ごとの配置車両が10両を超えた場合のみ、安全統括管理者を選任しなければならない。

( × )

(14) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後100日以内に毎事業年度に係る事業報告書を管轄地方運輸局長に提出しなければならない。

( ○ )

- (15) 乗車定員 11 人以上の自動車の使用者は、保有車両 3 両以上でなければ自動車の使用の本拠ごとに、自動車の点検整備並びに自動車車庫の管理に関する事項を処理させるため整備管理者を選任しなくてもよい。

( × )

【選択問題】

次の文章の ( ) の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

1 点 × 15 = 15 点

- (1) 旅客自動車運送事業者は、旅客自動車運送事業運輸規則第二十六条の二に規定する事故の記録、同運輸規則第三十八条第一項の規定による ( ア ) の記録その他の国土交通大臣が告示で定める書類を適切に管理し、( セ ) 第一項の規定による ( イ ) の求め又は同条第四項の規定による ( ク ) を受けた場合に、速やかに提示できるようにしなければならない。

ア. 指導監督    イ. 報告                      ウ. 車両法第六十三条    エ. 教育  
オ. 乗務        カ. 報告規則第二条    キ. 通達                      ク. 立入検査  
ケ. 告示        コ. 適性診断              サ. 指導                      シ. 命令  
ス. 運輸規則    セ. 法第九十四条        ソ. 巡回

- (2) 一般貸切旅客自動車運送事業者が使用する自動車が ( ア ) 人以上の死者を生じる事故を引き起こした場合は、24 時間以内においてできる限り速やかにその事故の概要を運輸支局長等に速報しなければならない。

ア. 1        イ. 2        ウ. 5

- (3) 道路運送法の目的は道路運送の ( ア ) の利益を保護及びその利便の増進を図るとともに、道路運送の総合的な発達を図り、もつて公共の福祉を増進することである。

ア. 利用者    イ. 事業者    ウ. 申請者

- (4) 旅客自動車運送事業者は、( ア ) の責務を定めることその他国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。

ア. 経営の責任    イ. 事業の責任者    ウ. 運行の責任者

- (5) 旅客自動車運送事業者は、天災その他理由により輸送の安全の確保に支障が生ずるおそれがあるときは、事業用自動車の ( ア ) に対する必要な指示その他輸送の安全のための措置を講じなければならない。

ア. 乗務員    イ. 旅客    ウ. 車両





**【筆記問題】**

1点×5＝5点

- (1) 事業者が提出する事業報告書は、次に記載するとおりである。  
( ) にあてはまる語句を記入しなさい。

- ・事業概況報告書
- ・( )
- ・貸借対照表
- ・一般旅客自動車運送事業損益明細表
- ・一般旅客自動車運送事業人件費明細表

答.                     損益計算書                    

- (2) 一般旅客自動車運送事業の運送約款に定める事項として、法令で規定されている事項を1つ正確に記入しなさい。

答.                     運賃及び料金の収受、一般旅客自動車運送事業者の責任                    

- (3) 事業者が地方運輸局長の命令により整備管理者を解任された者を選任する場合、解任の日から何年を経過した者でなければならないか、記入しなさい。

答.                     5年                    

- (4) 次の文章の ( ) の中にあてはまる語句を回答しなさい。

旅客自動車運送事業に従事する自動車運転手の一日の拘束時間は13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は( ) とする。

答.                     16時間                    

- (5) 次の文章の ( ) の中にあてはまる語句を回答しなさい。

旅客自動車運送事業者は、乗務員が事業用自動車の運行の安全の確保のために遵守すべき事項及び乗務員の( ) についての規律を定めなければならない。

答.                     サービス